

【8つのビジョンと基盤整備】

⑥ 未来を拓く京都産業の実現

【主なポイント】

- ▶ 産業創造リーディングゾーンを府内各地に配置して、国際的なオープンイノベーションを展開することで、社会課題を解決し、世界的な競争にも打ち勝てる産業が創出され続ける京都産業をめざします。
- ▶ 中小企業の経営安定を図りながら、大学や多様な企業の集積などの京都の強みを生かし、深刻化する人材不足や事業承継への対応、内外の市場開拓への支援を行うことで、京都産業の持続的な成長をめざします。
- ▶ 京都産農林水産物の世界ブランド化や新たな需要開拓を促進し、次代の農林水産業を担う人材確保と育成を進めることで、京都の農林水産業の持続可能な成長をめざします。

【重点分野】

■ 地域特性を踏まえた新たな産業創造のためのリーディングゾーンの構築

(主要な方策)

- ・世界最高レベルのシルクの染めと織りの技術を活用した世界から注目されるテキスタイル産地の形成
- ・産学公連携による太秦メディアパークの共創拡大に向けた、クリエイター人材の育成の促進、先端テクノロジーとの融合によるコンテンツイノベーションの創出
- ・関西文化学術研究都市において、「食」に関する研究機関やスタートアップ企業の集積の促進などにより、オープンイノベーションの場を創出
- ・長い歴史が育んだ京都の文化を生かした世界初となるアートとテクノロジーを融合した産業の創出

■ 世界に伍するスタートアップ・エコシステムの展開

(主要な方策)

- ・スタートアップ・エコシステム構築に向けた、多言語対応のワンストップ人材交流拠点となる、「京都版フォルケホイスコーレ（仮称）」の創設
- ・京都経済センター内でのミニセミナーの定期開催や、海外起業家向け90日間滞在型プログラム、海外スタートアップ支援拠点との相互連携事業の実施
- ・外国人の起業におけるビザの壁、言葉の壁、人脈の壁を克服する、「ALL英語、オンライン、ペーパーレス」によるスマート・スタートアップビザの実現
- ・京都海外ビジネスセンターの相談・支援体制の強化による、4年間で外国人スタートアップ100社創出をめざす「K-100 (Kyoto International Startup) 100プロジェクト」の推進

- ・海外の起業家を迎え入れるための、「英語で暮らせるまちづくり」をめざす体制整備の推進
- ・「共創型ものづくり」の支援等を通じた、大企業と中小企業や、中小企業同士のネットワークを生かした「草の根イノベーション」の促進
- ・女性の健康や子育ての悩み・課題等をテクノロジーで解決するフェムテック分野等における、産学公によるオープンイノベーションによる産業化の推進

■ 企業経営・産業集積の継続に向けた事業承継の促進

(主要な方策)

- ・地場産業産地、地域産業群が技術やノウハウ等の強みを活用することによりスケールアップし、持続できる仕組みづくり
- ・経営者の高齢化に対応した、全国に先駆けて取り組む後継者不在企業への後継者マッチング対策の強化
- ・京都の老舗企業の経営哲学や知恵の経営等を生かし、事業承継の全段階で伴走支援する仕組みづくり
- ・廃業した経営者の経験・技術を後継者不足の中小企業に供給するなどの、「再チャレンジマッチング支援」の実施
- ・人材・人手不足の状況を踏まえた、事業内容が類似する既存の企業同士やスタートアップ企業によるM&Aなど、新しい受け手とのマッチングの促進

■ 京都の食文化を支える農林水産業の新展開

(主要な方策)

- ・フードテックの社会実装を展開する「京都フードテック構想（仮称）」の推進
- ・農林水産技術センターの再編整備による研究開発機能の強化と、食関連企業との共同研究拠点の整備
- ・「京の食」のブランド価値をさらに高めて他県をリードする、新たな商品・サービス開発の推進
- ・食生活や価値観の多様化や消費傾向の変化を踏まえた、内食・中食需要に対応した商品づくりの推進

【到達目標】

- ・「スタートアップ・エコシステム形成を通じたスタートアップ企業設立数（累計）」について、過去5年間の平均値から倍増となる133件（33.2件×4年）をめざす
(京都スタートアップ・エコシステム推進協議会調査：16.6件/年（2015年～2019年）)
- ・「海外ビジネスセンター等の支援を通じて新たに設置した「京もの海外常設店・コーナー」設置数」を毎年度5店舗増加させる
(京都府による実態把握：30店舗（2022年度）)
- ・「京都中小企業事業継続・創生支援センターの支援を通じて成功した後継候補者マッチング件数（累計）」について、過去5年間の平均値から倍増となる240件（60件×4年）をめざす
(同センターにおけるマッチング件数：28.0件/年（2017年～2021年）)
- ・「農林水産業の産出額」を802億円に増加させる
(生産農業所得統計+漁業・養殖業生産統計+京都府林業統計 過去3年平均水準：775億円)